

公益財団法人自動車リサイクル促進センターにおける 自動車リサイクルシステム大規模改造のお知らせについて

公益財団法人自動車リサイクル促進センターでは、「自動車リサイクルシステム（略称：JARS、下記参照）」について、運用開始から約20年が経過しており、「システムの老朽化」、「複雑化」、「拡張性の限界」といった問題が顕在化していること、また、自動車リサイクルの更なる高度化が求められていること等から、当該システムの大規模改造を行い、2026年1月に新システムの稼働開始を予定している旨、別添のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

これにより、車両販売等を行っている整備事業者においては、新車販売時の登録業務や中古車買取時の預託状況確認の方法等に変更が生じることとなりますのでよろしくお願ひいたします。

記

- ・自動車リサイクルシステム（JARS）

<http://www.jars.gr.jp/>

2025年9月16日

日本自動車整備振興会連合会様向け 自動車リサイクルシステム大規模改造のご案内

<目次>

1. システム大改造について
2. 預託証明の電子化およびリサイクル券(紙面)の新規発行停止
3. ディーラー様に関わる業務変更点
4. 今後のスケジュール
5. お問い合わせ先



公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

1. システム大改造について

現行の自動車リサイクルシステム（JARS）は、運用開始から20年近く経過しており、「システムの老朽化」、「複雑化」、「拡張性の限界」といった問題が顕在化しています。また、自動車業界はガソリン車から電気自動車（EV）などへの転換が図られており、これらの外部環境変化を踏まえた、自動車リサイクルの更なる高度化に向けた取り組みが必要となっています。

上記の課題を解決すべく、以下の改革コンセプトを掲げたシステム大改造を行い、2026年1月の新システム稼働を目指します。

業務改革コンセプト				システム改革コンセプト
	リサイクル作業の適正性・安全性の担保	データ連携等による業務の簡素化	自動車リサイクルの高度化	スリムかつ効率的なシステムへのシフト
利便性	【事業者への提供情報の拡充】 <ul style="list-style-type: none">✓ 車載用電池（LiB等）の装備情報や易解体情報を、解体・破碎業者に提供することで、安心・安全な作業環境を実現	【キャッシュレス決済の導入】 <ul style="list-style-type: none">✓ リサイクル料金の預託に際して、多様な決済手段を持つ統合サービスを導入し、キャッシュレス化を促進	【リサイクル券の新規発行停止】 <ul style="list-style-type: none">✓ 現状、紙媒体で運用しているリサイクル券の新規発行を停止し、システム（JARS）で預託状況を確認する運用に変更	【利用者視点のUI設計】 <ul style="list-style-type: none">✓ 利用者視点で操作性の高い、UIの実現✓ 様々なデバイスからアクセス可能なレスポンシブデザインへの対応
効率性	【効率的な業者指導の実現】 <ul style="list-style-type: none">✓ 移動報告データの蓄積・活用による、自治体連携の強化及び効率的な業者指導の実現	【移動報告処理の入力支援】 <ul style="list-style-type: none">✓ 車検証のQRコード読み取り／車台のコーションプレート読み取りによる、入力作業の省力化の実現	【ASR削減インセンティブの分配】 <ul style="list-style-type: none">✓ ASRの削減及び素材リサイクルの高度化に取り組む事業者に対して、インセンティブを付与するための機能附加	【縦割りシステムの解消】 <ul style="list-style-type: none">✓ 物品毎の縦割りシステムを解消し、移動報告の工程毎の入力を、シームレスに利用できる環境を提供
拡張性	【将来的な品目追加への対応】 <ul style="list-style-type: none">✓ 将来的な3物品以外（エアバッグ・フロン・ASR以外）の品目追加に備え、柔軟に対応可能な拡張性のあるシステム	【外部システムとのデータ連携】 <ul style="list-style-type: none">✓ 他システムや他組織との連携が柔軟にできるよう、API活用を中心としたインターフェース機能の構築	【LiBのトレーサビリティ担保】 <ul style="list-style-type: none">✓ LiBの適正処理を目的として、LiBの処理実績をJARS内で蓄積し、LiBのトレーサビリティ情報の将来的な連携を想定	【クラウド基盤の活用】 <ul style="list-style-type: none">✓ 将来的な基盤面での拡張性などを確保し、定期的なハードウェア更改を極力回避するため、クラウド基盤の活用

1. システム大改造について（全体図）

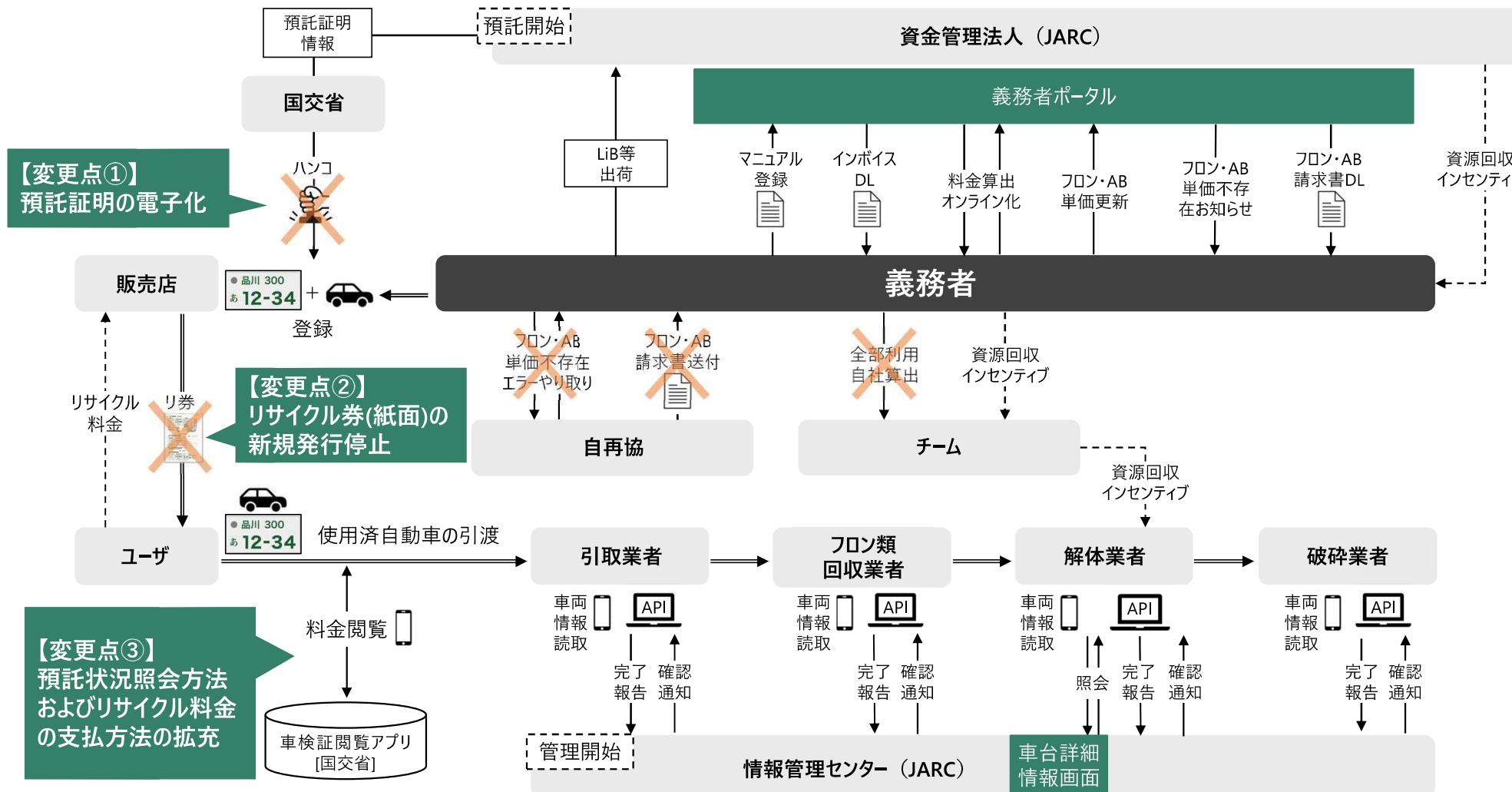
凡例：

ステークホルダー

データ

次期システム

お金



2. 預託証明の電子化およびリサイクル券(紙面)の新規発行停止

これまで預託証明として申請書類等に預託証明印を押印／預託証明シールを貼付していた義務者様は、預託証明が電子化されます。(※1)

新システムでは、預託証明が国交省・軽検協（陸運局・事務所）のシステム上で確認できるようになります。(※2)

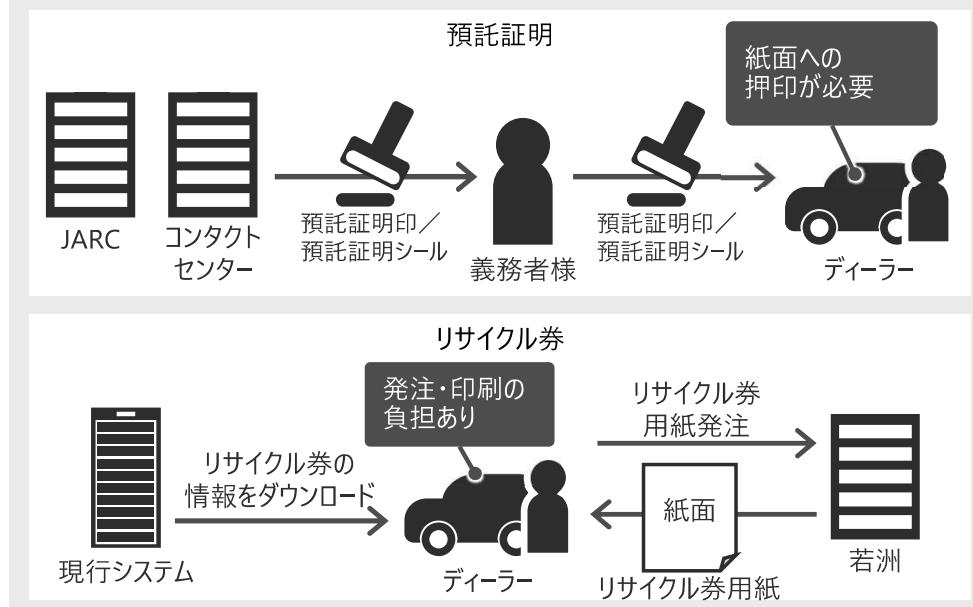
また、紙面で発行されていたリサイクル券の新規発行が停止され、リサイクル券用紙の発注・リサイクル券の発行が不要になります。

なお、本業務の見直しに伴い、資金管理料金並びに預託実務に伴う委託手数料を再算定いたしましたが、現行金額から変更はありません。

※1 AIRAC完検証サービス利用先は変更なし。※2 軽自動車等、何らかの事情でAIRACへの自動連携がなされない場合は、一般料金照会機能から出力する預託済が確認可能な帳票を提示。

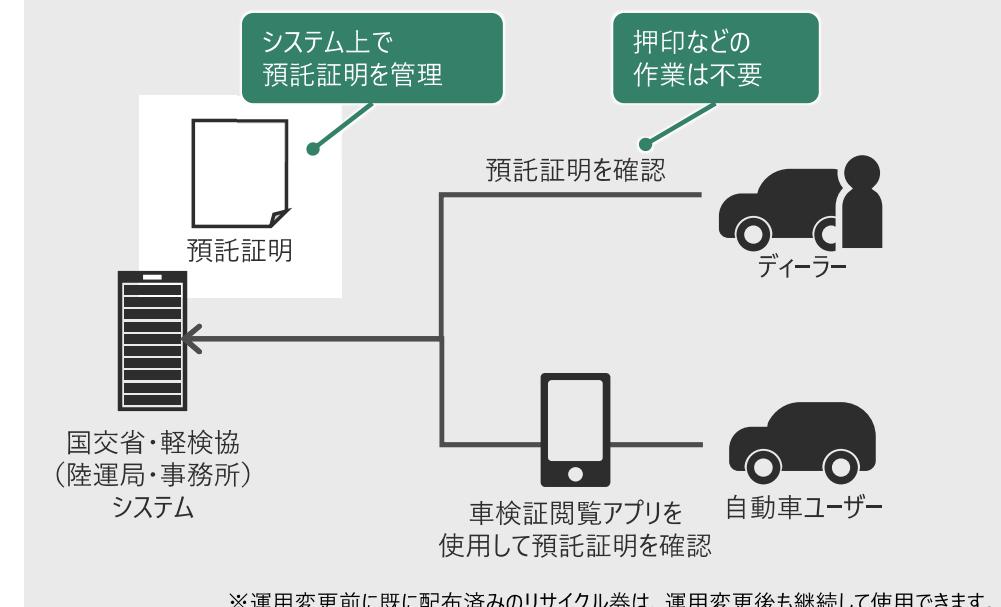
変更前

預託証明は証明印／証明シール、リサイクル券は用紙で管理されており、作業の負担がありました（完検証サービス未利用の場合）。



変更後

預託証明とリサイクル券が電子化され、システム上で管理されます。押印や発注・印刷などの作業が不要になります。



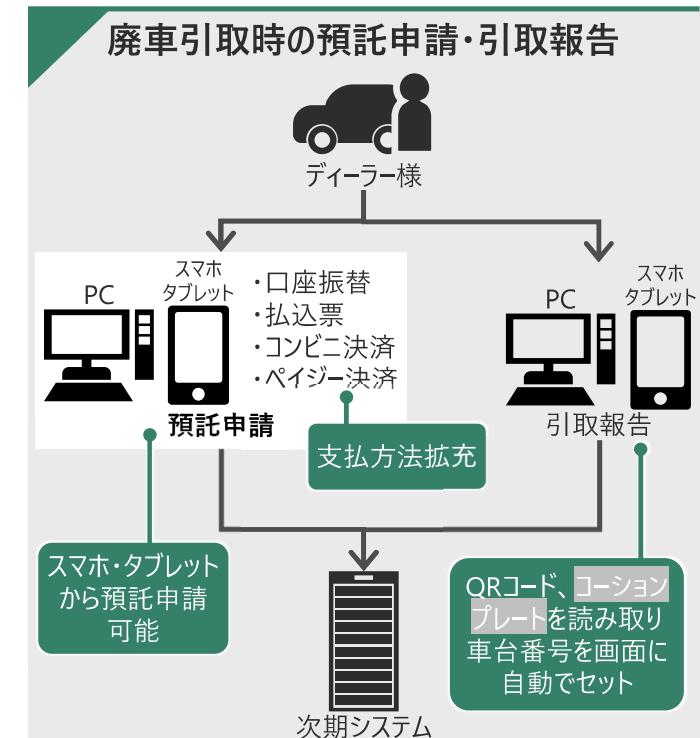
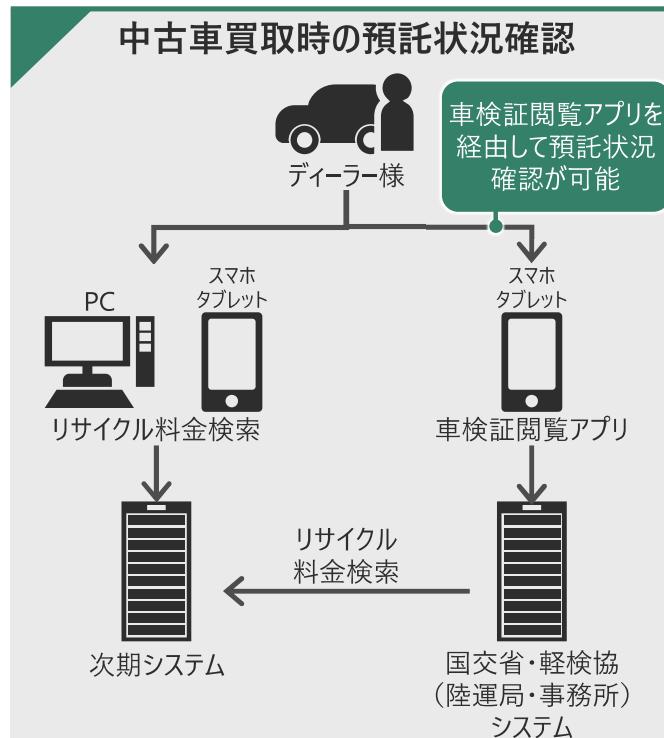
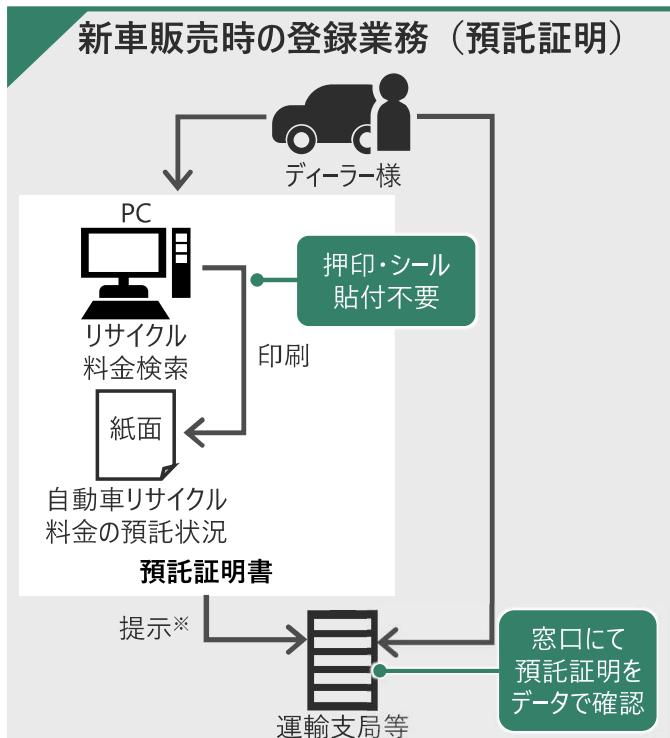
※運用変更前に既に配布済みのリサイクル券は、運用変更後も継続して使用できます。

3. ディーラー様に関わる業務変更点（1/3）

システム大改造により、ディーラー様に関わる業務変更点は、以下となります。

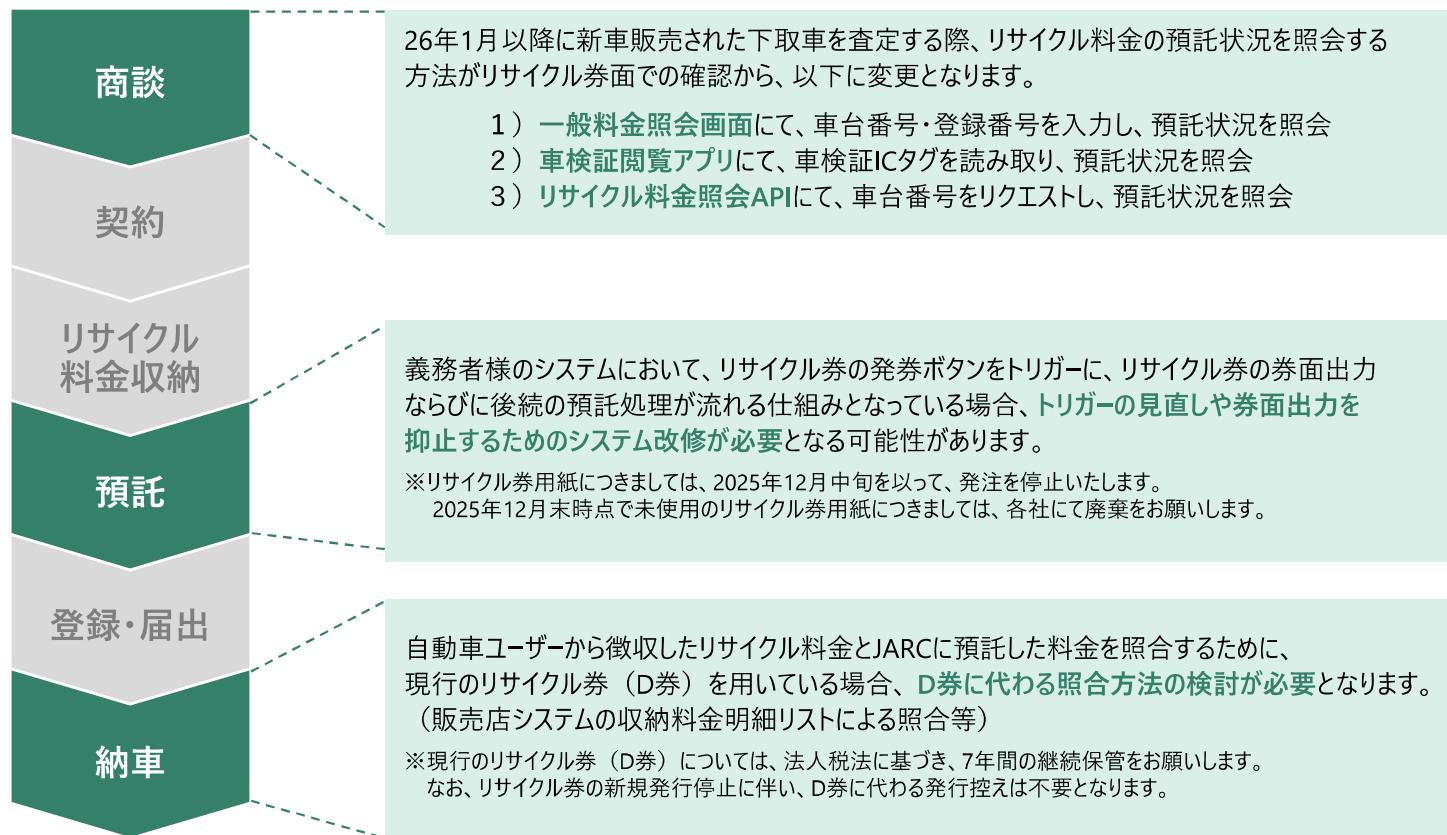
- ① 新車販売時の登録業務において、預託証明印の押印や預託証明シールの貼付が不要となり、システム上で預託情報が連携されます。
- ② 中古車買取時の預託状況確認として、JARS画面からの料金照会以外に、車検証閲覧アプリを経由して預託状況確認が可能となります。
- ③ 廃車引取時の預託申請（リサイクル料金の支払い（預託））の際に、コンビニ決済やペイジー決済に対応します。

変更後



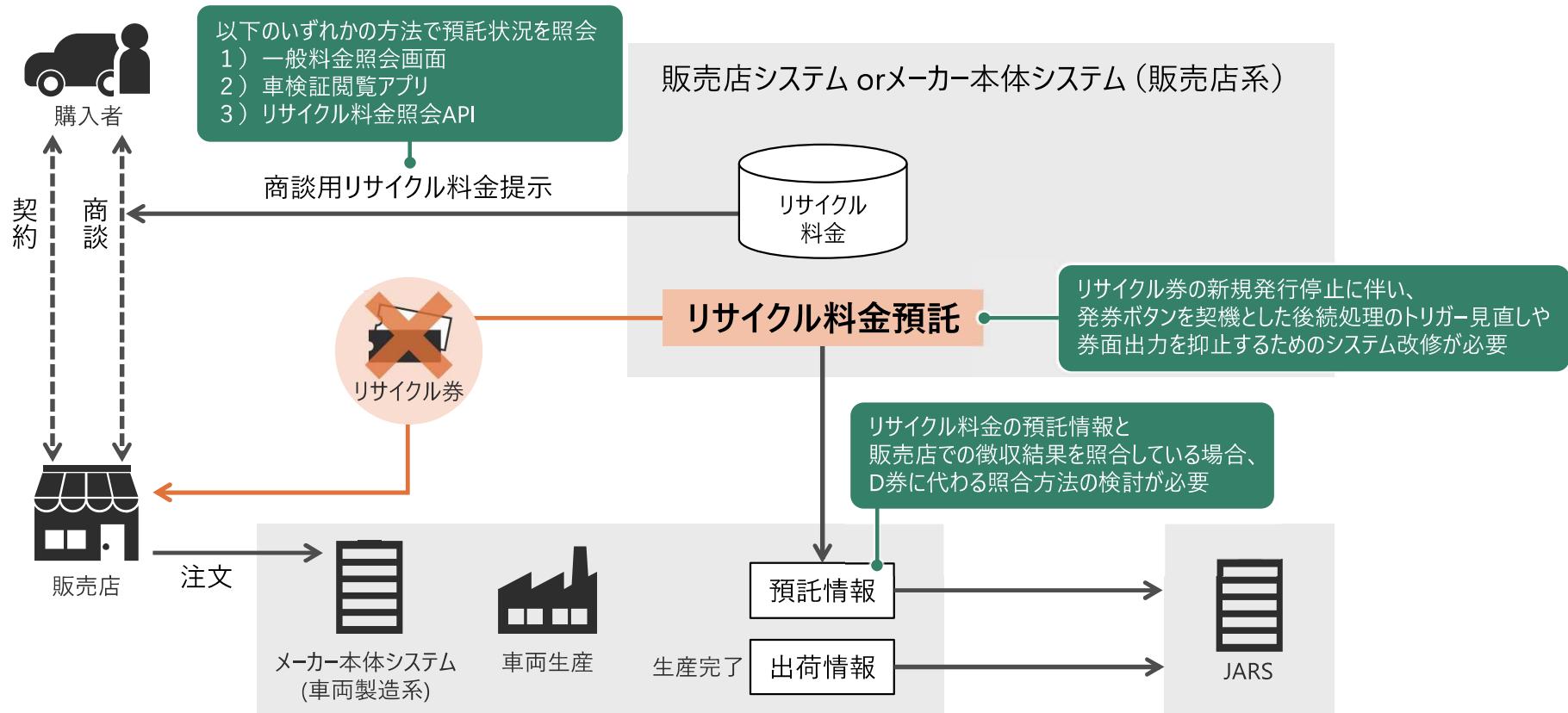
3. ディーラー様に関わる業務変更点（2/3）

リサイクル券の新規発行停止に伴い、義務者様への想定影響について、以下に整理いたします。
義務者様にて該当する内容をご確認いただき、必要に応じてシステム改修等のご対応をお願い致します。



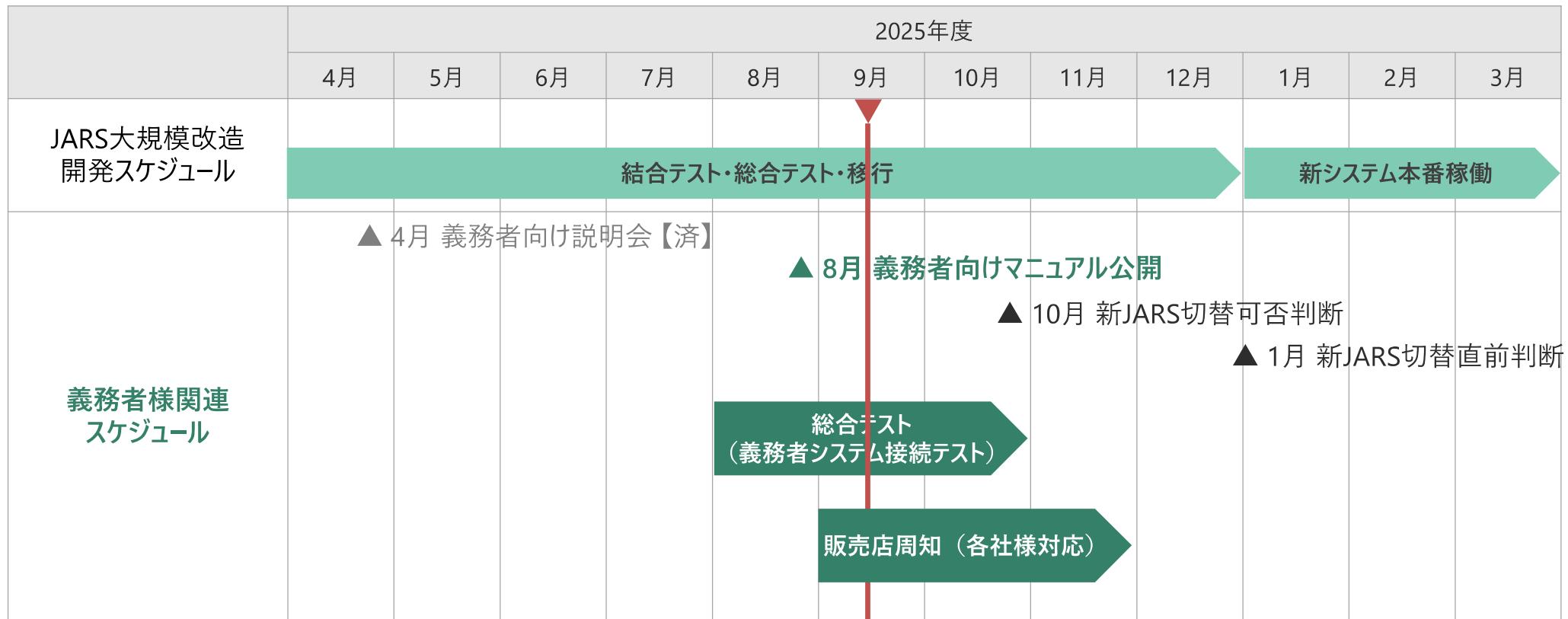
3. ディーラー様に関わる業務変更点（3/3）

リサイクル券の新規発行停止に伴う義務者様の業務・システムの改修イメージは次のとおりです。



4. 今後の予定

2026年1月の新システム稼働に向け、以下のスケジュールで義務者様と連携しながら開発を推進していきます。
義務者様内での販売店への周知は、9月頃より実施いただく想定でありますが、事前に各社様への情報展開にご協力をお願い致します。



5. お問い合わせ先

本説明会に関するお問い合わせは、下記宛にご連絡ください。
なお、システム大規模改造に関するご案内は、JARSのHPにも掲載しております。



JARS
大規模改造
ご案内
(JARS-HP)

こちらをクリック <http://www.jars.gr.jp/>

自動車リサイクルシステム

未来のために、環境のために。
みんなで築こうリサイクル社会。

自動車リサイクルシステムは、自動車リサイクル法に関係する方にご利用いただく情報システムを包括するサイトです。

リサイクル料金検索は
こからから
CLICK >

2026年1月からシステムが変わります
※ 情報は随時更新します

事業者の方 自動車ユーザーの方 義務者の方

事業者の方 自動車リサイクルシステム (7:00~21:00)、マニュアル・書式

新しく担当される方へ
-地図用システム
-よくある質問

自動車リサイクルシステム計画停止日一覧
-全面譲渡・災害時・代替車両の手引き